

都市計画道路 中田南線、中田北線の状況

令和8年5月26日

仙台市道路計画課

1

都市計画道路とは

- ・人や車の安全で円滑な通行の確保や、街並みの形成などの役割があり、あらかじめルートや幅などを決めた道路のこと
- ・将来のめざすまちづくりを実現するために、計画的に整備するもの



宮沢根白石線（浦田工区）
令和元年6月開通



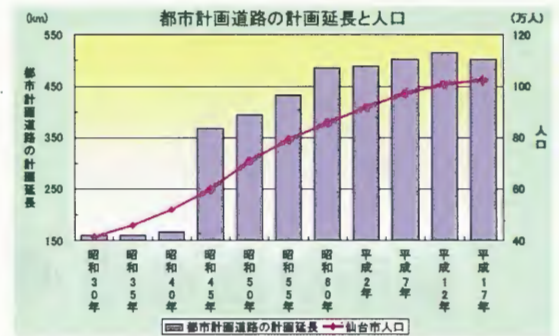
宮沢根白石線外1線（南鍛冶町～舟丁工区）
令和5年3月開通

2

都市計画道路網の見直し

■見直しの背景

- ・仙台市の都市計画道路網は、昭和40年代の人口増加に伴う市街地拡大にあわせて計画された
- ・その後も隣接市町との合併により、計画延長は増加
- ・その間、幹線道路の整備による渋滞解消や市街地拡大に対応した整備などを進めてきた



■まちづくりへの影響

- ・郊外への市街地の拡大により、鉄道やバスなどの公共交通サービスが十分受けられない地域が拡大し、車に依存せざるを得ない状況

■まとまりのある市街地形成

- ・人口減少や少子高齢化の進展等を踏まえ、新たな郊外開発を抑制し、公共交通が利用しやすい、まとまりのある市街地の形成が必要

平成23年1月

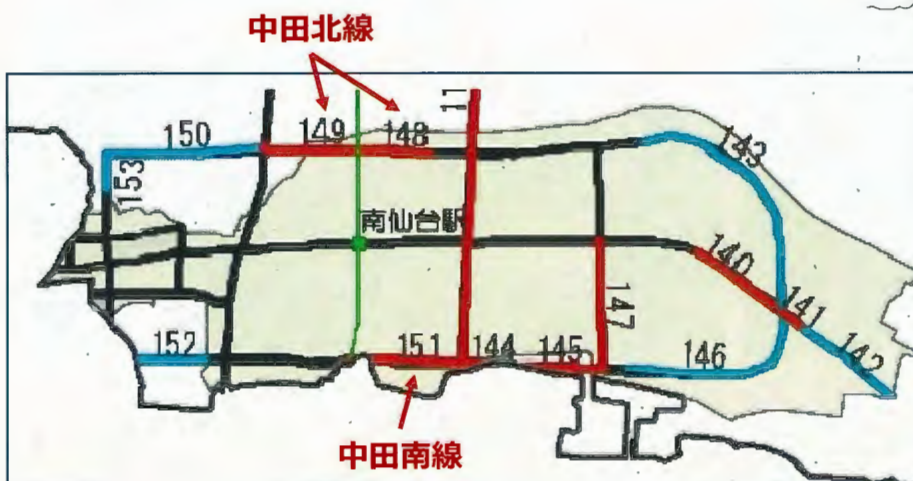
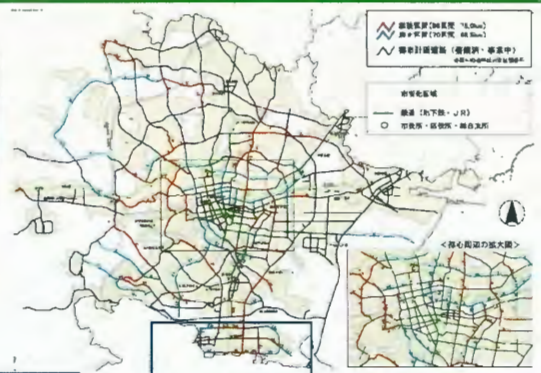
都市計画道路網の見直しによる「新たな幹線道路網」を公表

3

都市計画道路網の見直し

- ・計画路線の約48%を廃止（廃止延長：約68.5km）
- ・中田南線と中田北線は国道4号との接続により交通処理機能が向上するなどの理由から「継続」とした

対象路線	168区間	143.5km
継続区間	98区間	75.0km
廃止区間	70区間	68.5km

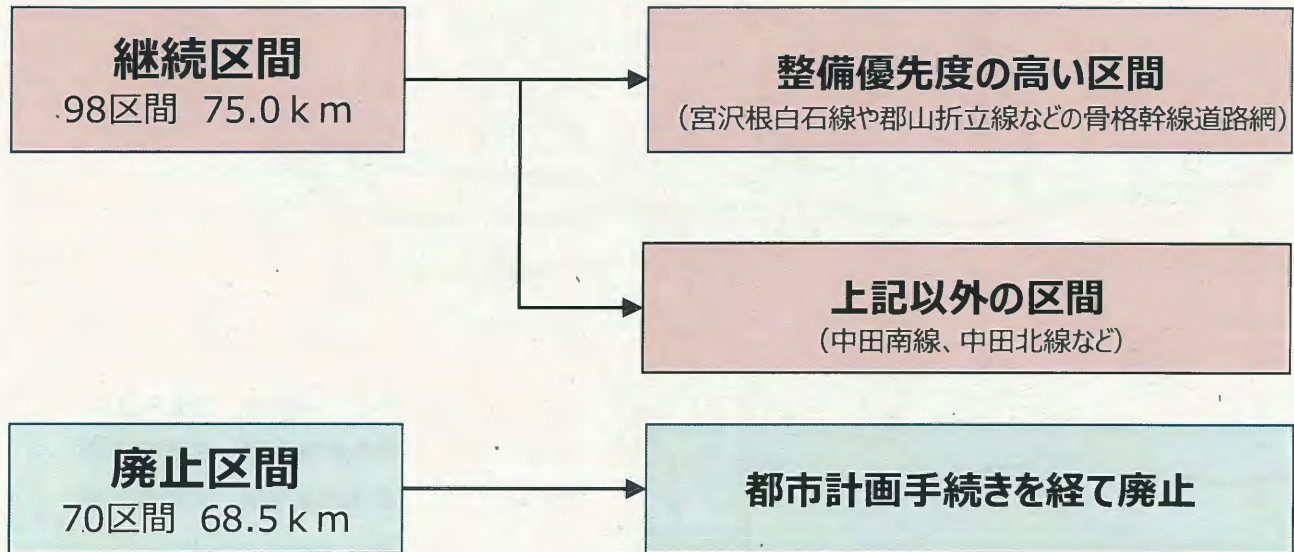


— 継続区間
— 廃止区間

4

見直しにおける継続区間の取り扱い

見直しにおける継続区間の中でも、本市の骨格幹線道路網を形成する区間を優先的に事業着手することとした



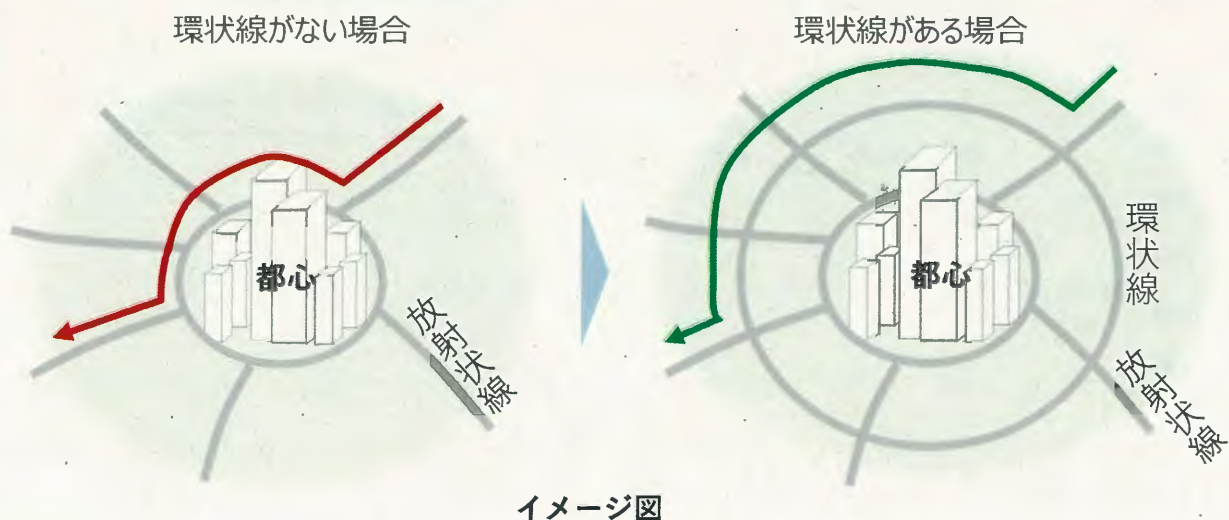
5

骨格幹線道路とは

骨格幹線道路

- ・都心から郊外に向かって放射状に延びた道路（放射状線）
 - ・放射状線を接続するためのリング状の道路（環状線）
- ⇒放射状線と環状線が相互に接続することで、交通の分散が促され、スムーズな交通を実現

都心部を通過せずに移動できるため、交通の分散による混雑緩和の効果がある



6

仙台市の骨格幹線道路



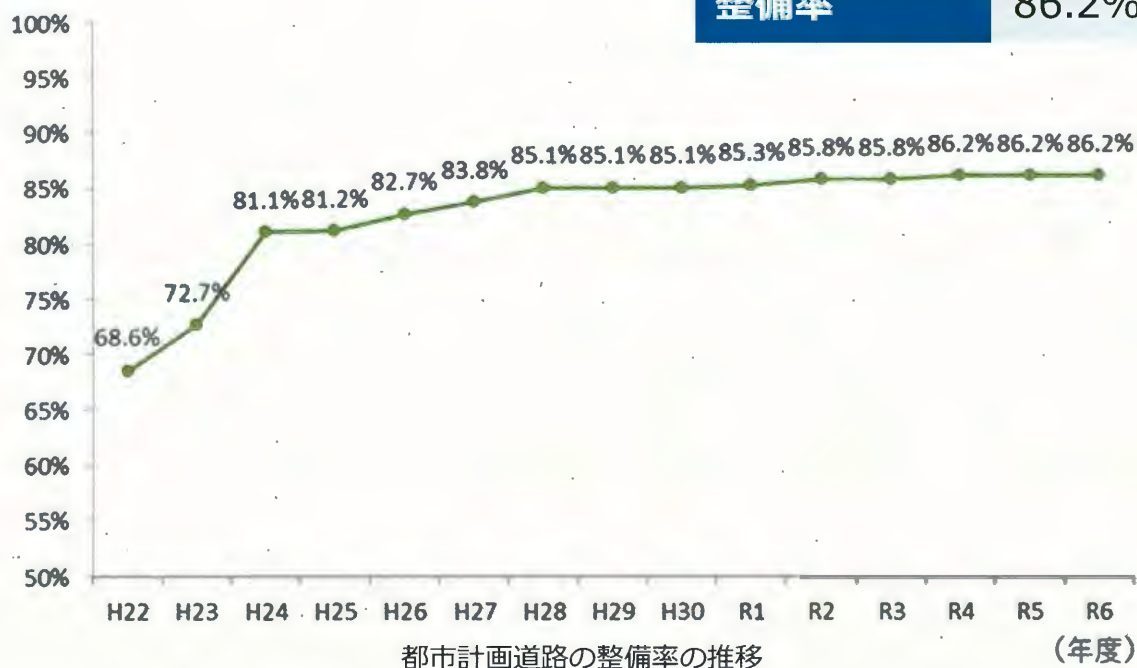
7

都市計画道路の整備状況

令和8年4月現在

- 平成23年の都市計画道路網見直し後、整備率は80%台を推移
- 令和8年4月時点で86.2%

計画路線	155路線
計画延長	430.11km
整備済延長	370.83km
整備率	86.2%



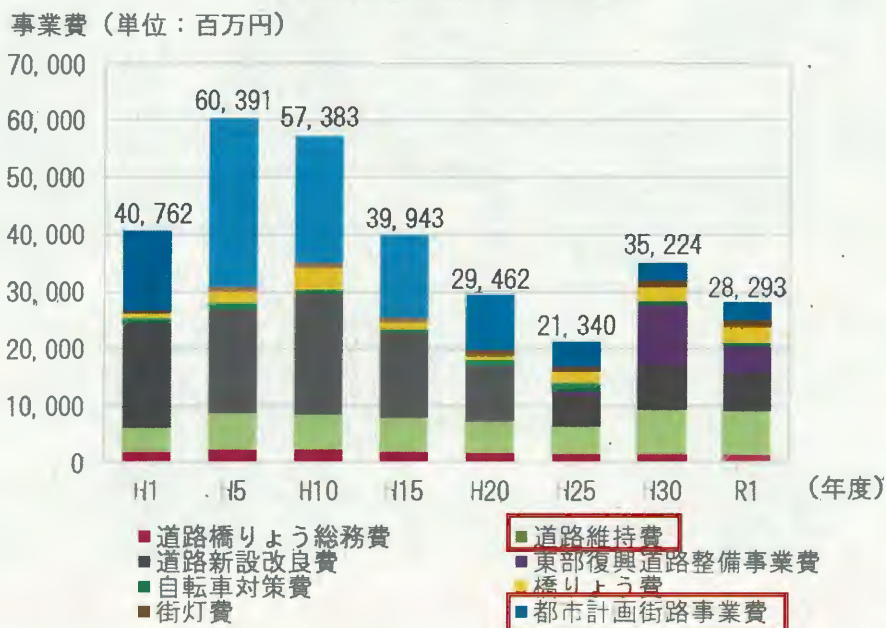
8

道路事業費の推移

■全体事業費

- ・ピークだった平成5年から半分以上に減少（都市計画街路事業費は約10分の1）
- ・近年は道路の維持管理にかかるコストが増加し、事業費に占める道路維持費が都市計画道路の整備費を上回っている

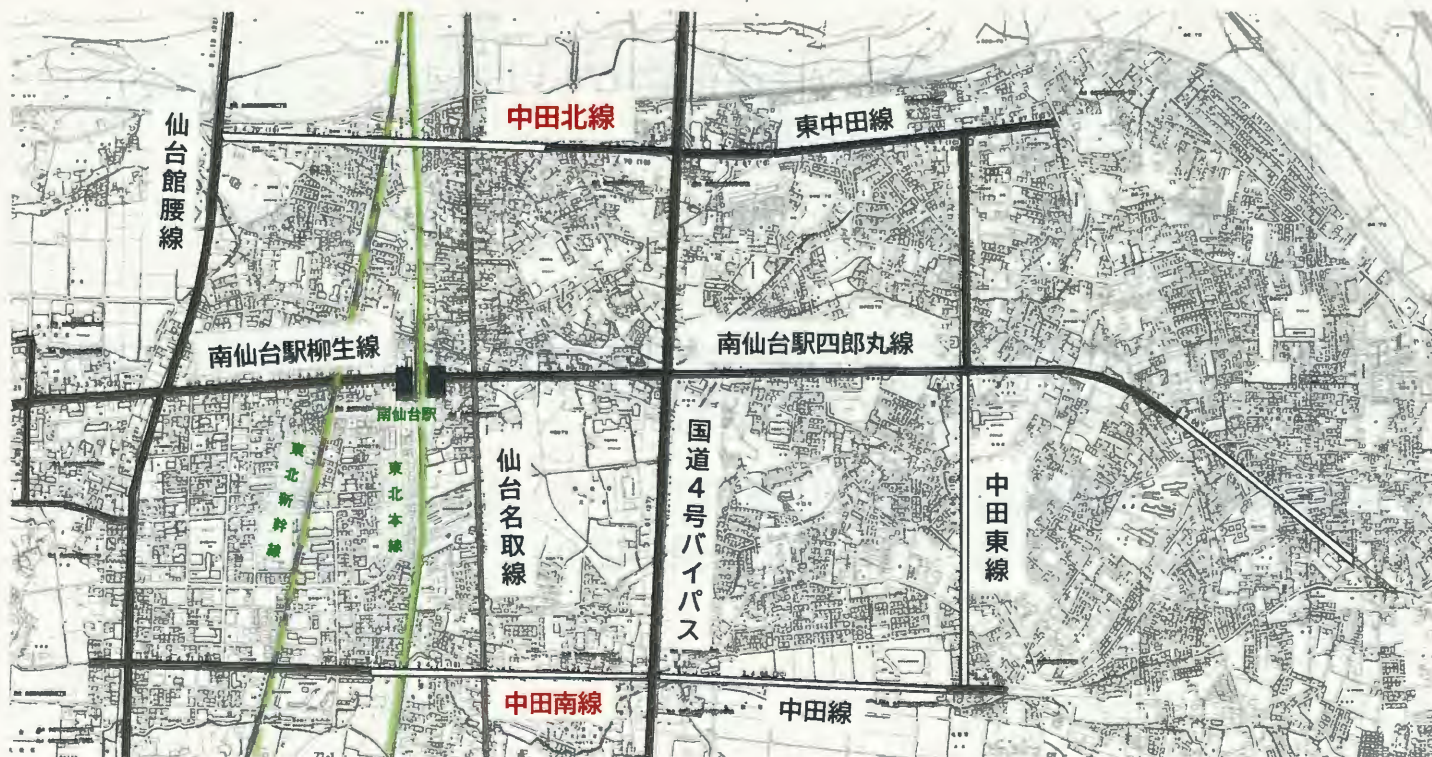
【道路関係事業費の推移】



9

中田地区の都市計画道路の整備状況

- 整備済区間
- 未整備区間



10

中田南線

- ・ 国道4号バイパスから仙台館腰線西側の市街化区域端に至る延長約1.5 km
- ・ 名取市域や東北本線東側の仙台市域の区間が未整備



行政界

11

【中田南線に対する本市の見解】

- ・ 本市の交流や物流、災害時の救援活動などを担う都市計画道路として、まちづくりを支える重要な都市基盤と認識
- ・ 鉄道と交差する箇所が未整備区間として残るなど、地域の回遊性や防災性の確保などが課題
- ・ 現在、骨格幹線道路を中心に整備を進めており、限られた予算の中で、複数の路線を同時に整備することは困難
- ・ 中田南線は骨格幹線道路に位置付けられていないため、スケジュールはお示しできないが、骨格幹線道路整備の進捗状況などを踏まえながら、整備時期を見極めていく

12

中田北線

- ・ 国道4号バイパスから県道仙台館腰線に至る延長約1.3 k m
- ・ 国道4号バイパス交差点から一部区間が整備済み



13

都市計画道路 中田北線

一部区間開通の経過

- ・ 当初計画では東中田線を先行して整備し、国道4号バイパスとT字交差することで検討
- ・ 国道管理者協議では、国道とは**十字交差とすることが条件**とされた
- ・ 警察協議では、国道への交差点新設には**中田北線の交通対策が条件**とされた

⇒ **中田北線から市道中田名取川堤防線へつながる道路を暫定整備**することにより、交通の円滑な流れを確保することとした（平成23年2月に関係地権者等に説明会開催）

平成29年10月：一部区間開通



14

- 本市では、環状線や放射状線など、都市の骨格を形成する骨格幹線道路を中心に都市計画道路の整備を進めている
- 中田南線や中田北線は、都市計画道路網の見直しにおいて継続区間とした重要な路線ではあるが、限られた予算の中では、骨格幹線道路と同時に整備を進めるのは困難
- 市全体の骨格幹線道路整備の進捗状況など踏まえ、将来的なスケジュールを見極めていく